



日本共産党 京都市会議員
ひぐち英明
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください！

こんにちは ひぐち英明です

HP:

第334号 2018年6月1日 連絡先: 日本共産党左京地区委員会 Tel.761-6341
: 左京生活相談所 Tel.781-6622

「民泊」施設には管理者の常駐が必要 条例の「修正案」を提案

5月議会に、「民泊」の営業に関する条例が提案されました。この間、市内各地で問題となっている「民泊」は、管理者が常駐していないところに最大の問題があります。市民のみならずからも管理者の常駐を義務付けるよう、要望が出されてきましたし、共産党議員団も繰り返し議会で求めてきました。

今回の条例で、「民泊」施設への「人の常駐を原則とする」、としていることは、市民の声に応えるものです。ところが、一方で、小規模施設ならばフロント（玄関帳場）を施設外に設けることを認めるという例外規定を設けたために、事実上、管理者不在の「民泊」営業を認めるものになっていました。京都市によれば、この例外規定に当てはまる「民泊」施設は1,500件以上になるということですから、これは認める訳には行きません。

そこで、共産党市議団は、どの施設も例外なく、管理者の常駐を義務付けることにする、条例の「修正案」を提案。管理者の常駐により、市民と宿泊者の安全を守ること、また、京都市の監視体制を強化し、条例が守られる仕組みをつくることを求めました。

残念ながら、共産党以外の議員全員が、わが党の修正案に反対し、市長提案の条例に賛成したために、全く不十分な条例が可決されてしまいました。

ここであきらめる訳には行きません。引き続き、管理者の常駐など、安全・安心の確保を求めて、市民のみさんと一緒に運動を続けていきたいと思えます。

まち壊し・地域壊しが加速 学校跡地を大企業に提供



元清水小学校を視察
共産党議員団で

京都市は、地域の自治活動の拠点である、学校跡地を次々と民間の事業者へ提供しようとしています。

東山区の元清水小学校は、NTT都市開発がホテルを建てることになってお

り、それまで行われていた区民運動会も地域のお祭もできなくなりました。そのホテル工事を請負うのが大林組。ホテルの運営はプリンスホテルとのこと。地域の自治活動の拠点が、NTT・大林組・プリンスホテルといった東京の大企業の儲けの場に提供されてしまった訳です。

市長のまち壊し、地域壊しを一刻も早くやめさせなければなりません。

左京消防団総合査閲



左京消防団総合査閲が5月22日に行われました。最初に訓練を披露したのが、京都市総合査閲に代表出場する川東分団。とがし豊前市会議員も団員として参加しています。

各分団のみなさんが、日ごろの訓練の成果を発揮し、雄姿を披露していました。

写真トピックス



←5・19「左京みんなのデモ」と市役所前集会↓



←左京の共産党府市会議員団4人そろって宣伝

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

長男（高校3年）は、最近家の中でペットボトルのキャップを投げて遊んでいます。カンカン音を立ててあまりにもうるさいので止めさせたのですが、どうやら学校で友達とキャップ投げをして遊んでいる練習のようです。それだけではなく、キャップを数十個使って、高く積み上げてタワーをつくっているとのこと。

アホなことをしているなあ とあきれればかりですが、そんなことを一緒にしてくれる友達がいることは、大事なことだとも感じます。